

# みんなで守る、 水辺の安全習慣

昔から身近にある荒川。世代を超えて楽しめる美しい川を、これからもずっと安全に楽しむために。事故を未然に防ぐ「4つの安全習慣」を今日からみんなで始めてみませんか？



## ライフジャケットは「水辺の服」

川の中に入って遊ぶときは、自分の身を守るためにライフジャケットを着用しましょう。また、川の近くや浅瀬で遊ぶ時も、不意の転倒や増水に備えてできるだけ着用しましょう。年齢を問わず安全への備えを持つことで、川でのレジャーがもっと安心で、楽しい思い出に変わります。



## 「いつもと違う」は帰るサイン

空が暗くなったり、水が濁り始めたりしたら、それは自然からの大切なメッセージです。また、上流のダムから放流される際にもサイレンが鳴り、急な増水をお知らせします。天候の変化を感じたり、サイレンの音が聞こえた時は「まだ大丈夫」と思わず、早めに川から上がる勇気を持ちましょう。この「早めの判断」が、楽しい一日を安全に締めくくるとのための大切なルールです。



## 水辺の子どもたちを、みんなで見守る

川はほんの数秒で状況が急変します。お子様連れの方は、絶対に目を離さず、すぐそばに寄り添うことが最大の安全対策です。また、周りの大人の方々も、危ない場面に気が付いたら優しく声を掛けるなど、みんなで子どもたちの安全を見守る温かい環境をつくりましょう。



## お酒を飲んだら、川には入らない

川の音を聞きながら頂くビールは格別ですが、一つだけ大切な約束があります。それは、「お酒を飲んだ後は、川に入らない」ということです。「少しだけなら」という油断が思わぬ事故につながることも……。楽しい思い出は、川から上がり、安全な陸の上でゆっくりと作りましょう。



問合せ 秩父消防署北分署 ☎ 6 2 ・ 7 1 1 9

## 職員の服装軽装化(オフィスカジュアル)の試行を実施します！！

町では、8月から「職員の服装軽装化(オフィスカジュアル)」の試行を実施します。

この取組は、服装を自由化するものではなく、職員の働きやすさと、町民の皆さまからの安心感・信頼感を両立するためのものです。通常勤務時は、年間を通じてノーネクタイ・ノージャケットを認め、ポロシャツ、チノパン、スニーカー等も業務内容に応じて着用できることとします。

一方で、議会、式典などでは、場面にふさわしい服装とします。

また、ネームプレートは、個人情報保護等の観点から「所属名+名字」を基本とした表示に見直します。

試行期間中は、運用状況を踏まえて必要に応じて見直します。ご意見がありましたら、町ホームページのお問い合わせフォームからお寄せください。

町民の皆さまのご理解をお願いいたします。

お問い合わせフォーム：

<https://www.town.nagatoro.saitama.jp/contact/>

問合せ 総務課 庶務担当

☎ 6 6 ・ 3 1 1 1 内線 2 1 4、2 1 5



## 性犯罪被害に注意！

帰宅途中の性犯罪に注意しましょう！

自宅玄関前やアパート階段での痴漢被害も発生しています。



①帰宅するときは、

- ・ 明るく、人通りがある道を通る
- ・ 歩きながら携帯電話を操作しない
- ・ イヤホンで音楽を聞きながら歩かない

ようにして、後をつけてくる人がいないか気をつけましょう。玄関前や家の近くまで来たときも、**油断せず周りに注意**し、帰宅したらすぐに**玄関の鍵**をかけましょう。

②防犯ブザーなどの防犯グッズを持つ習慣をつけ、いつでも使えるようにしておきましょう。

③危険を感じたら…

- ・ 大声を出す。防犯ブザーを鳴らす。
- ・ お店など、安全な場所に逃げる。
- ・ すぐに110番通報する。



秩 父 警 察 署